

奄美・沖縄交流事業研修レポート

今回の奄美・沖縄事業では、普段の学校生活などではできないような貴重な体験がたくさんできました。一回目の奄美研修に出発する前は正直どんな人たちとどんな研修になるのだろうと、緊張と不安でいっぱいでしたが、実際に奄美市役所に行って同じ学校の子たちや別の学校の研修生スタッフの皆さんにあってみると最初ほどの緊張は解けたスタッフの皆さんが企画してくれたノートキングゲームなど出だしからアットホームな雰囲気に完全に緊張もほぐれこれからの研修にワクワクしていたのを今でも覚えています。

いよいよ始まった最初の研修である奄美実習では、実際に金作原（きんさくばる）という森に行きガイドさんの話を聞きながら奄美の森を歩くと、見たことある様でない鳥や虫たちがいたり、鳴き声が聞こえたりして何か異世界にでも迷い込んだような感じでした。金作原の湿った空気や草や木のおい鳥や虫の鳴き声など自然を五感で感じることができ、普段近くにあるはずなのに気づけていないことや、逆に知っていた知識が実は間違っていたことなどガイドさんの話を聞く中で沢山の発見があって面白かったです。金作原の森が「世界遺産」に登録されたのも納得できるほんとに綺麗で美しい森でした。

お昼は大和村に行きBBQをしました。お肉や野菜はスタッフの皆さんが暑い中頑張って焼いてくれました。僕たち研修生はただ焼いていただいたお肉や野菜を食べるだけでもちろん片付けなどはお手伝いさせてもらいましたがこれといった仕事はなく楽しいBBQの時間を過ごす事が出来ましたBBQの最後にはスイカ割りも用意してくれていて、選ばされた研修生の子とスタッフの方がスイカを爽快に割ってくれて、スタッフの方含め研修生のみんなどおいしく食べる事ができました。

午後は奄美野生生物保護センターで講義を受けましたそのあとは絶滅危惧種に認定されていた生き物や外来種の問題、午前中に研修で行った金作原の問題、また、観光客が増えていくことのメリットやデメリットなどの議題を四人ずつの班に分かれて話し合ったり発表したりしました。その中で僕たち人間の便利さの裏側で失われていく自然や動物の命があるということを知って、この奄美大島の環境を少しでも多く守っていけるように自分たちにできる事を考え直す事ができました。

奄美実習最後は QuruGuru に行きました。QuruGuru では、ブラックライトを使って草や木に隠れている生物、動物を見つけたり、クロウサギの目線になって森を探検できたり実際にクロウサギを見ることができたり、とにかくここに書ききれないくらいのクロウサギの生態系だったり実際にロードキルなどで亡くなってしまったクロウサギの処置の仕方だったり、クロウサギが生まれてから亡くなるまで全て教えてくれる場所でした。また QuruGuru には、クロウサギをモチーフにしたカフェがありそこでは、サーターアンドギーをおやつに買って食べました。

そんな沢山の経験をすることができた奄美実習では、奄美の自然の生態系や自然と人間の関わり方など普段何気なく住んでいるこの島について考え直せるいい研修だったと思います。

奄美研修から4日あけていよいよ今回の研修の本命沖縄研修が始まりました。

奄美・沖縄交流事業研修レポート

一日目はほぼ移動日みたいな感じだったのであんまり活動する時間は少なかったのですが、夜にやんばるの森で実習したナイトハイク体験はすごく楽しかったです。「ヨンナーコース」というコースを回りながらやんばるの森特有の自然や生き物の姿を確認することができ、その中でも特に印象に残っているのが「フォレストガエル」というカエルの鳴き声がとても印象に残っています「ぐうおぐうお」と低い声で最初沖縄のおじちゃんがどっかにいるのかなと思ったらガイドさんの話をよく聞くとフォレストガエルという名前のカエルらしく初めて聞いた鳴き声にワクワクしたのを覚えています。またやんばるの森に入る際は靴に付いている外来種の種子を落とすためにマットで靴をこすってから入るといった決まりがあるらしくこれは奄美でも外来種の増加を防ぐために生かせそうだなと思いました。ナイトハイクをしている道中に蜘蛛の巣に引っかかったり目の前に急にカエルが飛び出して着たり様々なハプニングはあったもののとっても楽しい経験をすることができました。

二日目は、体験したことが多くかなり濃い一日でした。まず午前中は朝からクイナふれあい公園というところに行き本物のヤンバルクイナを見ることができました。一日目のナイトハイクでは見るができなかったヤンバルクイナを目の前で見ることができてとてもよかったです。やっぱり写真や映像で見るとでは全然かわいさが違って、特に水たまりのところで水遊びをする姿がかわいかったです。午前中はこんな感じで午後はみんな大好き美ら海水族館に行き、観光客の多さに圧倒され中に入って真っ先に向かったのは大きな水槽にジンベイザメやマンタそのほかいろいろな魚が泳いでいるジンベイ・マンタコーナーに行きそこに泳いでいる生き物一匹一匹の迫力に目が飛び出そうになりました。そのほかにもマナティーや熱帯魚、サンゴなど沖縄の海に潜っていないのに沖縄の大きな海を探検した気分になれてすごく幸せな気分でした。楽しかった美ら海水族館とも別れ、夜は音階お世話になっているやんばる学びの森でやんばるの星について勉強しました。普段の生活では聞いたことある様でない星の名前などいろいろなことを教えてもらいました。

三日目は、午前中に辺士名高校に行き辺士名高校の方と一緒に交流をしました。最初は各高校の代表者によるお互いの島の魅力や生態系などをパワーポイントやクイズを駆使して発表しあっていて、辺士名高校の方も研修生代表の方もかっこいいなあと思いました。発表の後は広大な自然に囲まれた辺士名高校で飼育されている動物、生物また校舎を案内してくれて、一番大好きなフトアゴヒゲトカゲも触ることができて夢のような体験をすることができました。校舎内で飼っているヤギに草を上げたり、展示されていた標本を見たりほんとに博物館のような高校でとても楽しくいい経験をすることができました。午後は OIST というところに行きました。OIST では、ほんとにたくさんのお話を聞かせていただいたんですけどどの話も僕の頭では理解することができなかつたんですけど、唯一覚えていることといえば施設がものすごく大きいという事、外国人がとても多いということです。特に日本人は全体の約 15%しかいらっしやらないらしく生徒同士または生徒と会話をするときは基本全て英語でしゃべると聞いて天才とはこういう人たちのことをいうんだなあと思いました。

奄美・沖縄交流事業研修レポート

以上で沖縄実習のプログラムが終了したわけですが、終わるのがすごく早くであつという間に三日間が過ぎていったなあというのが率直な感想です。一日一日がホントに自分にとって学ぶことが多い三日間でしたこれに関しては沖縄研修だけでなく奄美研修でも同じことがいえると思います。僕はこの奄美・沖縄交流事業を通して奄美と沖縄とでの自然環境の違いや同じところ、問題点や解決策など沖縄と奄美の良い所を取り合っまずは僕たちが住む島奄美大島の自然問題の解決につながるような事をこれからも積極的にやっていきたいなと思える研修でした。ほんとにいい経験をさせてもらってよかったです。